

## '08年12月27日富士市丸火公園観望会

by kuma

12月27日。

今年最後の定例観望会が開催されました。場所は先月と同じ富士市丸火公園です。今回は二人の見学希望の方も一緒に観望を楽しみました。聞けばほとんど初心者との事で、うらしまさんとねこさんがいろいろとサポートをされていました。

観望地に向かう途中の眺め。今年はこんな快晴の空に巡り合う事は皆無でした。もしかしたら見学のお二方は強力な晴れ女なのでしょうか。誰でも良いからそのご利益にあやかってくれないものかしら。

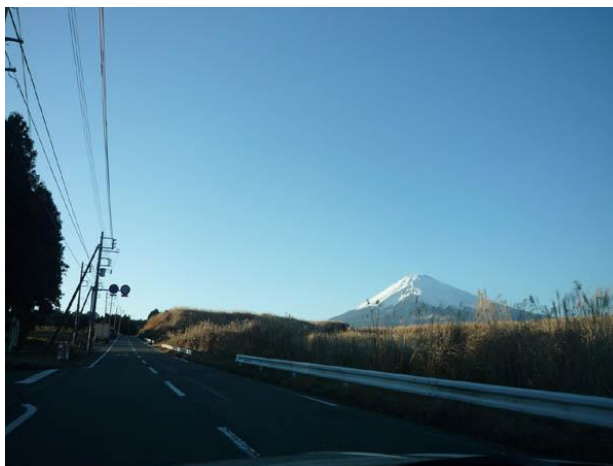


Photo ねこさん

日没を過ぎた頃から続々とメンバーが集まってきました。誰もが開口一番、今日の天気のことを喜んでいます。今年は本当に天候には崇られました。気温は夕方の時点で2℃でしたが、快晴無風な上に気温もこの程度なら真冬にしては快適の部類でしょう。

到着早々、各々機材を設置していきます。みなさん年の瀬でお忙しいのか、今夜は早めに撤収される方が多く、参加人数の割には機材も少なめでした。私は定番のドブ、ヒデアキさんがFS128とSky90の二連装、ハセガワさんが宮内のBJ、うらしまさんはペンタ75EDのお手軽モードです。薄明も終わり上空には満天の星空が見えてきました。

場内奥に移動して早速ねこさんナビゲートによる星座ツアーが始まりました。ねこさんがグリーンレーザーを片手にいろいろと解説しています。ギリシャ神話を交えた丁寧な説明に、近くに居た会長や私やまでもが思わず、へえーと聞き入ってしまいました。



Photo うらしま

こうなると気分はプラネタリウム状態。  
事前のアナウンスが利いたのか、皆さん  
防寒対策は万全でした。  
ねこさんの星座ツアーはこの後も続いて  
いきました。



Photo うらしま

星座ツアーの後は望遠鏡による観望のスタートです。

ペンタ 75ED で二重星団を観望しています。  
肉眼でもあの辺に何かもやっとしたものが見えるかな、ぐらいは判りますが、望遠鏡で見ると小ささまざまな星の集団である事が見て取れたでしょう。



Photo うらしま

ヒデアキさんの FS128 で観望中。  
筒先の方角からみてアンドロメダ辺りを見ているのでしょうか。



Photo うらしま

Kittyドブで M31 を見えています。視野からはみ出してしまいある意味面白くない対象ですが、その大きさだけは実感してもらえたでしょうか。機材もこうやって大小取り混ぜて見ると、口径の差による見え方の違いなども判りやすく面白いかもかもしれません。NGC2169(37cluster)も、名前通りのユニークな形が確認できたようです。



Photo ねこさん

そのまま秋の対象を中心にあちこち流していると、広場の端にセットした机にゾロゾロ皆が集まり始めました。ここで全員揃って最初の休憩をとります。

今日は皆アルコールを控えめにしてコーヒーやティー類で暖を取ります。私や会長が呑まない日は珍しいのですが、やはり快晴だった事が嬉しかったのかも。今年はそのだけフラストレーションの溜まる観望会が多かったということでしょう。私とヒデアキさんは休憩もそこそこにして自分の機材に戻って観望を続けました。



Photo ねこさん

21 時を過ぎてオリオン座が高い位置まで昇って来たので、最近重星仲間で話題になっていたエリダヌス座の重星を見る事にしました。



・ **o 2Eri** エリダヌス座 o 2 星

主星 4.43 等、B 星 9.7 等 A-B 角距離 83"、C 星 11.2 等 B-C 角距離 8.9" の 3 重星です。

この星のユニークなのが A,B,C の三つの星が全て矮星である事で、中でも B 星は最も見易い白色矮星と言われています。C 星も赤色矮星で、この C 星の見え方を確認するのも今日の目的のひとつでした。

最初に 37cm で確認したところ余裕で全部見えます。まあこれは当たり前で、問題は C 星が 10cm で捕捉が出来るかでした。生憎と今日は 10cm アポを持参しなかったのでヒデアキさんの FS128 を拝借しました。結果はシンチレーションの影響もあり視認出来ません。

この日はいっかくじゅう座  $\beta$  星すら分離しないコンディションとあっては致し方ないとは言え、口径的には 10cm でもギリギリ射程圏なので、兄貴分の FS128 で見えないというのは大変残念でした。機会を見つけてまた再チャレンジします。

小休止の後、会長がオリオン辺りの説明をしています。会長自らガイド役を買って出るなんて結構珍しい光景かも。周りからも、さすがは天文同好会会長、と野次が飛びます。



Photo ねこさん

見学のお二人は夜半前には帰宅され、ここからは皆で観望に徹します。

ヒデアキさんは同架した Sky90 で散開星団を中心に直焦撮影をしており、37cluster やクリンゴンクラスターなど結構面白そうな対象を狙っていました。

夜半前には春の星座も昇って来たので系外銀河を中心に幾つか導入。といってもこの地は市街地から差ほど離れておらず光害の影響は必至なため、メジャーな対象に絞りました。

・NGC2403…春の DSO はいつもここからスタートする事が多い。星雲の中心付近に重なる二つの 11 等星とのバランスが面白いです。なんとか腕も見え、スパイラル銀河らしい雰囲気を感じられました。

・M81&82…自分的には M82 の方が好みで、中心部の暗黒帯もよく見えていました。M81 の方はいまひとつパツとしません。

・NGC2903…以前乗鞍で見せてもらった迫力が忘れられず毎回見る対象です。今日は貧相でした。

・HCG44…メジャー処ではありませんが、最も見易いヒクソングループなのでこちらも毎回見る対象です。NGC3190 以外はどれも貧弱で三つが何とかと言ったところ。

・NGC4565…まだ北東低空のためかなり貧弱な眺め。暗黒帯だけはなんとか見えました。

・NGC4631&4656…何故かこの対象だけは導入が苦手で、ヒデアキさんがサクッと入れてくれました。さすがにシロナガス鯨の愛称のように見えませんでした。背中の伴銀河 N4627 の存在も何とか見えています。4656 も先端の折れ曲がった部分がかすかに見とめられました。

・NGC2237…向こうの方からバラ星雲の話題が聞こえ、そういえば久しく見ていなかったのものでヒデアキさんに毒キノコと OIIIを拝借して見ました。視野からはみ出すのは判っていたのですが、それでも中心部付近のグロビュールでしたっけ？濃淡の入り混じった様子は結構見応えあります。

最後に M51 を見てお開きにする予定でしたが、ちょうど木の影に重なっていて 30 分ほど待たなくてはならず、そのまま見るのを忘れてしまいました。



Photo うらしま

最後まで残ったメンバーだけで撮った記念写真を一枚。冬の1等星が全て写っています。

周りの木々が結構な高さで観望可能範囲を大きく損なっていますが、その分風もなく快適な一夜を過ごす事ができました。

今年は本当に天候に恵まれない年でしたが、今年最後の観望会でこんな素晴らしい天気巡り会うことができました。終わり良ければ全て良しと言う事で、ラストに相応しい楽しい一夜でしたね。良い締めくくりになりました。

みなさん、今年も一年お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いします。

了